

令和5年度 演習林実習スタート

5月10日、11日、17日と今年も月形町にある本校演習林での実習が始まりました。スタートは3年生です。はじめに、宿舎前にあるご神木のシナノキに今年1年の無事を祈願しました。その後、昨年自分たちで刈り払いを行った場所にミズナラを植栽。これらは将来的にシイタケ原木として利用する予定ですが、今後の保育作業は1、2年生や未来の後輩たちに引き継がれていきます。

続いて2年生がトドマツの間伐を行いました。先月、チェーンソーの特別安全教育を全員が受講し、資格を取得したところですが、まずは、腰ノコで伐倒を学びます。受け口、追い口と基本に忠実に行うことで、安全に確実に木を倒すことが出来ました。いよいよ、次回からはチェーンソーを使つての実習が始まります。

最後に1年生です。初めての演習林実習ということで、ひたすら林内を歩き、森の様子がどうなっているのか、どんな樹木が生育しているのかを身をもって学びました。はじめて聞く山の用語に苦労しながらも、へばることなく熱心にメモを取っていました。次回からはいよいよ本格的な実習が始まります。これからの活躍に期待です！



北海道植樹祭に参加！

5月28日（日）に厚真町にて開催された第73回北海道植樹祭に生徒・教職員ともに参加しました。

今年度は、植樹活動の補助係だけではなく、木育ブースを新たに設け、来場された皆様に木育の楽しさや本校・森林科学科の教育活動の紹介など、広くPRするブースを展開しました。

また、植樹活動に先駆けて行われる式典行事では「緑の宣言」へ参加し、厚真町・苫小牧出身の生徒2名が地元の子どもたちをエスコートしながら、多くの参加者を前に、堂々と活躍をしました。

鈴木直道北海道知事の挨拶にもあったように胆振東部地震の爪痕が残る厚真町ではありますが、植樹する意義が一人でも多くの道民の皆さんに広がっていくことを、本校森林科学科も願っています。



グリーンフェア大繁盛！

3年ぶりに通常開催されたグリーンフェア。シイタケのほだ木や各種木工品など、森林科学科ならではの品揃えでお迎えしました。

木工品は月形演習林で生徒が伐採したトドマツを活用したものが中心。天候にも恵まれ、白い木目が太陽に照らされてキラキラしていました。

シイタケの原木栽培に興味はあるけれどやり方がわからない、というお客さんも、たくさんいらっしゃいました。説明を聞いて、チャレンジしてみようと買ってくださった皆さんありがとうございました。本当に美味しいですよ。

また、今回お試しで販売した動物マグネットも、気がつけば完売しました。このように、生徒が関わった販売物が売れていくのを見るのはとても嬉しいことです。また、作ろう！ご来場ありがとうございました。

